



テクノス通信



6月
vol.97
2017

今月のテーマ 「センサー変更で課題解決その② ～超音波・赤外線センサーで課題を解決～」

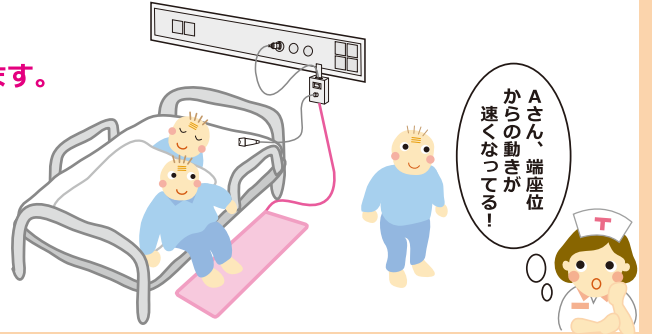
今月号は対象者の容態の変化によって設置位置を変えられる「超音波・赤外線センサー」をご紹介します。

A 病院「床敷きタイプ」の課題



対象者の容態の回復により、報知したいタイミングが変化します。

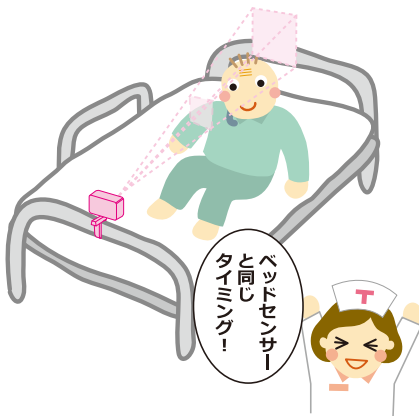
床敷きタイプのセンサーを使用していますが、対象者の容態が回復し、端座位で報知するタイミングでは対応が間に合いません。離床センサーにはたくさんの種類がありますが、対象者の容態によって幅広く使い分けができる製品はないでしょうか？



「超音波・赤外線コール」で課題をクリア！



「超音波・赤外線センサー」は様々な場所に取付けられるので、患者の容態や動き、速さに合ったタイミングで報知ができます！



ベッドセンサーと同じタイミング！



超音波・赤外線センサー

例えば、転倒の危険度が高い方にはヘッドボードに取付け、起き上がりの動作を検知します。転倒の危険度は低いけど、徘徊が気になる方には出入り口にセンサーを設置し徘徊防止としてお使いいただけます。それ以外にも設置場所によって報知タイミングを変えることができます！

いろいろな使い方ができて便利だわ！

起き上がりを報知！

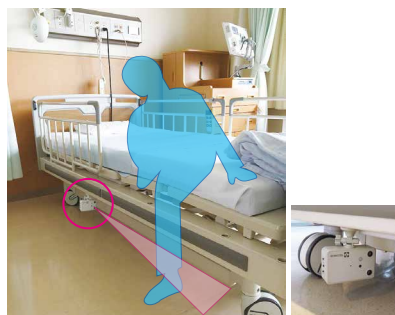
「超音波・赤外線センサー」をフットボードに付けベッド上での起き上がりを報知します。



ベッドセンサーやクリップ式センサーが適合しない対象者にも…

端座位を報知！

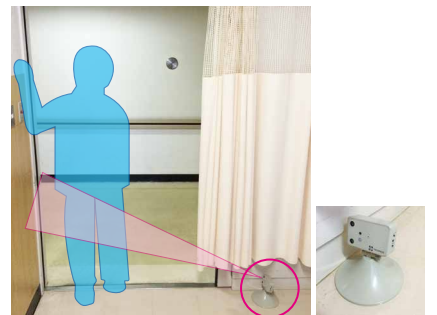
超音波・赤外線センサーをベッドフレームに付け、ベッドから足を下ろしたタイミングで報知します。



コールマットが適合しない対象者にも…

離室を報知！

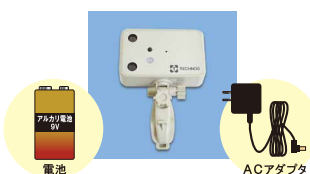
超音波・赤外線センサーを出入口に設置し、部屋から出ようとするタイミングで報知します。



ドアセンサーが適合しない対象者にも…

〈電源は2通り〉

「ACアダプタ」もしくは「電池」のどちらでもお使いいただけるので電源が確保できない場合でも電池で運用できます。



〈テクノスジャパンの超音波・赤外線センサー〉

研究開発を重ね超音波センサーと赤外線センサーの良い面のみを合体した「超音波・赤外線センサー」を製品化し、2015年7月に発売しました。離床・離室検知センサー及び徘徊感知センサーとして広く皆様のお役に立つことを願い生まれた製品です。

